

3サンハイツせけんばな紙

第 37 号

令和6年12月1日

編集責任者

田島康弘(3-101)

作成責任者

渡邊芳憲(9-503)

編集委員

小松清明(10-501)



団地内の野草

田島康弘(3-101)

メヒシバ(雌日芝)

この写真は道路にはみ出したメヒシバの花穂の写真です。この道路は1号棟の東側の歩道です。この写真では3、4本ですが、最大8本くらいまで出るそうです。

オヒシバという野草もあり、両方とも日当たりの良い所に生えるので、日芝の名が付いています。オヒシバの方は花穂がもっと太く、茎も丈夫でたくましく見えます。

春から秋まで成長しどこでも見られる野草で、この団地でも最も多い野草の一つだと思います。

ただ、畑などでは成長が強く作物に被害を与えるので、強雑草、強害草という評価もされています。

なお、メヒシバは牛の好物とされ、猫もメヒシバを食べるそうです。

12月行事予定

詳細はLLかもいけ129号に

1日(日) ◎第7回ダレデューモマナヴェール「歴史よもやま話-鴨池〜加治木-」

16:00~17:30 真砂六区公民館

8日(日) ◎竹細工〜正月飾りを作ろう

10:00~12:00 真砂福祉館

材料代:200円 申込み締切:1日(日)

申込み:松山和博さん ☎090-7469-3316

※行事予定についてのお問合せ・お申込み

鴨池校区コミュニティ協議会事務局

☎099-285-1522

9日(月) ◎火災予防の日(毎月9日)

13日(金) ◎鴨池中学校 授業参観・PTA

14日(土) ◎鴨池小学校 土曜授業

◎鴨池中学校 土曜授業

◎鴨池小学校 鴨池小学校PTA・鴨コミュ合同リサイクル活動

7:30~8:00 鴨小正門・東門 廃食用油・キッチン金具・古本・制服

15日(日) ◎餅つき大会 8:00~12:00 真砂公園 詳細はLLかもいけ129号2面に

餅の無料配布 12:00~ (整理券は9:00~配布、限定800個予定)

ジュース・おむすび・わたあめ・ポップコーンの無料配布

体験コーナー:餅つき・餅まるめ

19日(木) ◎第8回プティエコール「心を癒やす私だけの燭火」

10:00~12:00 鴨池校区公民館

参加費:1200円 定員:15名 申込み締切:4日(水)

◎頭いきいき!音読塾

14:00~15:30 鴨池生協クリニック3階集会室

申込み:片平さん ☎099-260-3532、☎080-2739-3578

22日(日) ◎クリスマス飾りを作ろう

10:00~11:30 真砂福祉館

材料代:200円 申込み締切:15日(日)

申込み:松山和博さん ☎090-7469-3316

24日(火) ◎鴨池小学校 終業式

◎鴨池中学校 終業式

25日(水) ◎鴨かもサロン(体幹トレーニングの簡易版)

10:00~11:20 鴨池生協クリニック1階フロア 参加費:100円

申込み:片平さん ☎099-260-3532、☎080-2739-3578

スマホ相談会

11日(水) 25日(水) 10:00~12:00 校区公民館

要予約:その週の月曜日午前中まで

体幹トレーニング

9日(月) 10:30~11:30 (2回とも同じ

23日(月) 11:00~12:00 内容です)

鴨池生協クリニック5階 参加費:500円

申込み:片平さん ☎099-260-3532

☎080-2739-3578

ベトナム語を学ぶ

ーこの団地の住民としてー

田島康弘 (3・101)

1.はじめに

今年の後期(10月〜12月)ベトナム語を学んでいる。すごいと思う人もいるかもしれない。でも、ただできるようになればいいなあとと思って始めた程度である。実は前期(5月〜7月)から始めていた。前期は10回、後期は6回の講座である。思えばたしか4〜5年前にも3回程度のベトナム語講座に参加したことがあった。この時が全くの初めてであり、その時はベトナム語とはこんなものかと思った程度であった。

今年の前期は10回だったので、やや基本的なことを学べたのかもしれない。そして今、その継続をしているということである。

2.近くにベトナム人がいる

そもそもなぜベトナム語なんぞを始めたのか。周りにベトナム人が増えていっているらしいこともその理由の一つではある。市内春山の製材所でベトナム人を二人雇用するという話を聞いたのはもう5〜6年くらい前になる。私はその製材所の社長さんを知っていたので、彼らに会うために明石屋のシュークリームをもってそこに行ったことを覚えている。なぜ会いたかったのかについては深い理由はない。新しさ、珍しさ程度だったと思う。

一年ほど前、真砂町のアパートにベトナム人が住んでいるという話を耳に挟んだこともある。身の回りに住んでいるベトナム人もある程度いるのではないだろうか。外見だけではほとんどわからないからである。

3.ボケ防止

ベトナム語を始めたもう一つの理由は「ボケ防止」だと思う。何か新しいことをしていないと世の中がつまらなくなってしまうからであるが、考

えたり、覚えたりしなければならぬので、こちら(ボケ防止)の方は多少効果があるのではないかと、思っている。もともと、ほとんど覚えていないし、また、覚えられない。「覚えられない」と「忘れる」の二刀流である。

4.講座の概要

この講座の主催者は県の国際交流協会であり、先生は元鹿児島大学の留学生で、現在は県の職員として働いているベトナム人の女性である。前期も後期も週に一回、日曜日の午後の講義があり、生徒は10名程度であった。生徒の中にはベトナムに旅行した人もおり、また、居住経験のある人もいるようだ。

5.ベトナム語のテキスト(発音)

毎回、先生自作のテキストが配布され、その前半は必ず発音練習である。英語と同じようなアルファベットがあるが、もちろん異なる発音の文字もあり、単語の中で使われる各文字の読み方の高低(イントネーション)で意味が変わったりする。この点は中国語と似ていると思う。

6.ベトナム語のテキスト(文章)

テキストの後半は簡単な文章で、単語の意味や文法の学習である。これを覚えればいいのだが、それがなかなかできない。ベトナムの社会は年齢が上であるほど尊敬される社会(日本もそうであってほしいのだが)であり、年齢や性別で異なる人称代名詞が使われるので、これに慣れるのは大変だ。

7.文化、宿題、料理教室

テキストの最後にベトナムの文化(食べ物、天秤を担いだ移動販売の習慣、主な都市など)の写真や映像を使つての紹介があり、これは言葉の勉

強ではないのでとても楽しい。

そして、毎回、その日の習ったことに関する宿題が出る。これをきちんとやれば、習ったことの理解はできるようになるが、覚えるまではなかなか行かない。

後期は6回の内の1回(5回目)に、「ベトナム料理講習会」が計画されている。とても楽しみだが、「ベトナム語でやる」という点が難点だ。でも、なんとかなるだろう。

8.ベトナム語での発表

最後の6回目は、生徒自身がベトナム語で作成した文章を発表する。テーマが与えられていて、そのテーマは「私の一番幸せな日」である。このテーマで私はA4一枚程度のベトナム語の文章を作成した。すごいと思ってくればありがたいが、実は日本語で文章を作り、翻訳ソフトでベトナム語に変換しただけである。これが今の時代である。

だからベトナム語の文章を作ること自体は難しくない。問題はその作られたベトナム語を自分の頭で理解できるか否かである。単語一つ一つの意味とそのつながりが分かるかどうかである、これをするには時間がかかったが、何とかすることができた。

皆の前での発表なので発音も正しくなければならぬし、単語や文章の意味が分かっているければ、文章のどこで切つていいのかが分からない。これには練習が必要となる。残った時間でこれを行なうつもりである。

9.おわりに

ベトナム語を学ぶことは時間もかかり大変だが、内容が少しずつ分かっているとやはり楽しい。ベトナム語の勉強を始めて一番変わったことはベトナムやベトナム人を以前と比べて尊敬するようになったことである。これが言葉を学ぶことの本当のメリットかもしれない。